

不確かさカテゴリー分類結果一覧表(抗菌・抗ウイルス分野)

JNLA登録/認定分野	試験方法の区分の名称	JISの番号	JISの名称	試験方法の項目番号	試験の概要	カテゴリー分類結果	カテゴリー分類の理由・解析
抗菌・抗ウイルス分野	抗菌性試験	L1902	繊維製品の抗菌性試験方法及び抗菌効果	8.1 菌液吸取法 8.2 トランスファー法 8.3 菌転写法	抗菌加工を施した繊維製品の細菌に対する高湿下の抗菌性を、抗菌活性値によって評価する。	Ⅲ 定量試験B	試験者の技量、接種菌株の生物学的性状等による不確定要因による変動があり、これら試験方法の特性に起因した変動要因により、第Ⅱ類「定量試験A」には分類できない。
抗菌・抗ウイルス分野	抗菌性試験	L1902	繊維製品の抗菌性試験方法及び抗菌効果	8.4 ハロー法	ハローの有無によって評価する。	I 定性試験	試験結果は、ハローの有無で判定する定性試験であるため不確かさ評価を必要としない。
抗菌・抗ウイルス分野	繊維製品の抗ウイルス性試験	L1922	繊維製品の抗ウイルス性試験方法	11. 試験手順	抗ウイルス加工を施した繊維製品の抗ウイルス性を、抗ウイルス活性値によって評価する。	Ⅲ 定量試験B	試験者の技量、接種ウイルス株の生物学的性状等による不確定要因による変動があり、これら試験方法の特性に起因した変動要因により、第Ⅱ類「定量試験A」には分類できない。
抗菌・抗ウイルス分野	抗菌性試験	Z2801	抗菌加工製品－抗菌性試験方法・抗菌効果	5. 試験方法	プラスチック、金属、セラミックなどの抗菌加工製品の細菌に対する抗菌性を、抗菌活性値によって評価する。	Ⅲ 定量試験B	試験者の技量、接種菌株の生物学的性状等による不確定要因による変動があり、これら試験方法の特性に起因した変動要因により、第Ⅱ類「定量試験A」には分類できない。